

# 水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/seiiku-zyoho.html#suitou>

第 2 報  
千葉県農林水産部  
令和 8 年 6 月 3 日

## 4月植えは中干しの時期に入っています。

## 「ふさおとめ」の幼穂形成期は6月 10 日頃～の見込み

### [ 生育概況 ]

本年は植え付け時期以降の気温が「平年並～やや高く」推移し、5月第3半旬～第4半旬の日照時間も平年より多かったため、全体的に生育が進み、葉齢は「並～やや早」、草丈は「長」、茎数は「やや多～多」、葉色は「並～やや濃」となっています。

4月 20 日植えのほ場では、中干しを始める時期に入っていますので、適期を逃さないようにしましょう。気象庁の2週間気温予報は「平年並～高い」となっています。ほ場によっては幼穂形成期が見込みよりずれる可能性がありますので、こまめに幼穂を確認しましょう。

表 1 品種別の生育状況（6月1日現在）

品種	植付け時期	生育程度（平年値との比較）※			
		葉令の進み	草丈	茎数	葉色
ふさおとめ	4月20日	やや早	長	やや多	並
ふさこがね	4月20日	やや早	長	多	並
コシヒカリ	4月20日	並	長	やや多	並
	5月 1日	やや早	長	多	やや濃
粒すけ	4月20日	やや早	長	多	並

※平年比は過去10年間（2016～2025年）の平均値

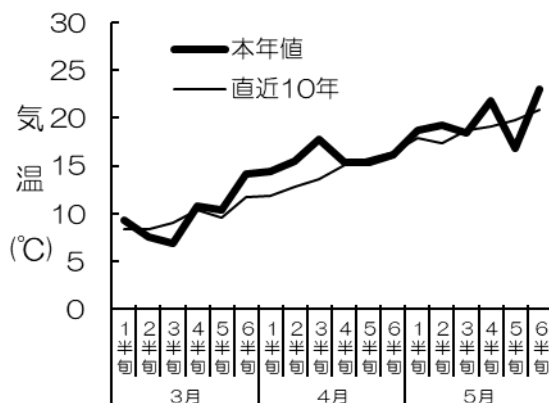


図 1 日平均気温の推移（アメダス、佐倉）

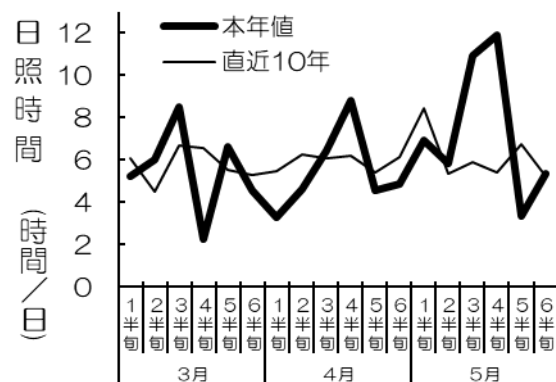


図 2 日照時間の推移（アメダス、佐倉）

# [ これからの管理のポイント ]

## ■ 適期に中干しを実施します

4月に植え付けたほ場では、中干しを開始する時期となっています。ほ場ごとの生育を確認し、茎数が確保されたら速やかに中干しを実施してください。

中干しは過剰な分げつを抑え、地中深く根を張らせる効果があるため、近年、頻発している登熟期の高温登熟障害の予防としても有効です。また、倒伏防止や還元障害（ガス沸き）対策にも有効です。土壤水分にムラが生じやすい場合は、「溝切り」を行うことでムラが解消でき、中干し効果が高まります。

表2 品種別の中干し開始目標茎数

品種	植付け時期	砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	4月20日	480本/m <sup>2</sup> (27本/株)	480本/m <sup>2</sup> (27本/株)	440本/m <sup>2</sup> (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)
コシヒカリ	4月20日	320本/m <sup>2</sup> (18本/株)	310本/m <sup>2</sup> (17本/株)	300本/m <sup>2</sup> (16本/株)
	5月1日			
粒すけ	4月20日	472本/m <sup>2</sup> (26本/株)	440本/m <sup>2</sup> (24本/株)	

※（ ）内は60株/坪植えの時の1株当たり茎数の目安。疎植の場合はこの目標に達しないことがある。

## ■ 穂肥の時期は幼穂長で判断します

4月20日植えの「ふさおとめ」は6月10日頃から、「ふさこがね」は6月12日頃から、「コシヒカリ」は6月19日頃から幼穂形成期（幼穂長1mm）となる見込みです。

幼穂が確認できたら速やかに入水するとともに、適期に穂肥を施用しましょう。「ふさおとめ」の穂肥は遅れないよう幼穂長が1mm～1cm、「ふさこがね」は幼穂長が1cmになったら施用しましょう。施肥量は、窒素と加里を10a当たり成分量で各3kg（ただし、房総南部の粘質土は「ふさおとめ」が1～2kg、「ふさこがね」が2～3kg）が目安です。

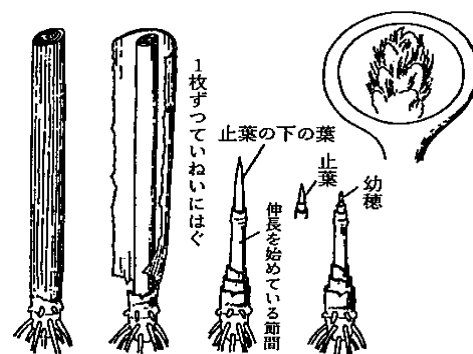


図3 幼穂の確認方法

表3 品種別の幼穂形成期の予測日

品種	植付け時期	幼穂形成期予測日（月日）			
		県北 （香取市）	九十九里 （横芝光町）	内湾 （千葉市）	県南 （館山市）
ふさおとめ	4月20日	6月15日～	6月12日～	6月10日～	6月10日～
ふさこがね	4月20日	6月16日～	6月14日～	6月12日～	6月12日～
コシヒカリ	4月20日	6月24日～	6月21日～	6月19日～	6月19日～
粒すけ	4月20日	6月23日～	6月21日～	6月18日～	6月18日～

※ 水稻生育予測システム「でるた」を基に予測

## ◆水稲生育予測システム「でるた」で幼穂形成期の目安日を確認しましょう

千葉県では県内の水稲の出穂期と作業適期を予測する、無料の Web アプリ、水稲生育予測システム「でるた」を公開しています。ぜひご活用ください（右：二次元コードより）。



## ■病害虫・雑草防除

### ○いもち病発生に注意

今後、低温で降雨の日が続くと、いもち病の発生が多くなると予想されます。特に、昨年いもち病の発生があったほ場や、風通しの悪いほ場では注意が必要です。

補植用の置き苗は早めに処分し、感染源を減らしましょう。

### ○イネばか苗病の抜き取りのお願い

本田で発生したイネばか苗病の株を放置すると、胞子が飛び、周りのほ場にも伝染します。特に、採種ほ場の周辺で本病が発生すると、優良な種子の生産に支障をきたします。本病の発生が見られたら、採種ほ場の出穂前までに罹病株ごと抜き取り、水田から離して埋却処理するなどの対応について、ご協力をお願いします。防除対策等は右の二次元コードより県HPを参照ください。



写真1 イネばか苗病

### ○畦畔から侵入する「ほふく性雑草」を防除します

畦畔からのイネ科ほふく性雑草（キシウスズメノヒエ、アシカキ等）やイボクサが本田に侵入する時期です。中干しを始めると茎の節から発生した根が田面に張るため、除去が難しくなります。中干しと併せて取り除きましょう。

## ◆ナガエツルノゲイトウ（草刈り時の拡散防止）

特定外来生物の「ナガエツルノゲイトウ」の発生地域が拡大しています。茎断片でも容易に芽を出し定着するため、草刈りにより個体数を増やす場合があります。

また、草刈り時に茎断片が水路に落下すると水系を通じて拡散する恐れがあります。

畦畔は「ラウンドアップマックスロード」「ロイヤント乳剤」「ザクサ液剤」等の除草剤を使用し防除します。

詳しくは「水路から田んぼまでナガエツルノゲイトウ駆除ガイド」を参照して下さい。  
（右：二次元コード）



写真2 白い花が咲く



写真3 畦畔から本田に侵入する様子

次回の「水稲の生育状況と当面の対策」は、6月17日に発行予定です。

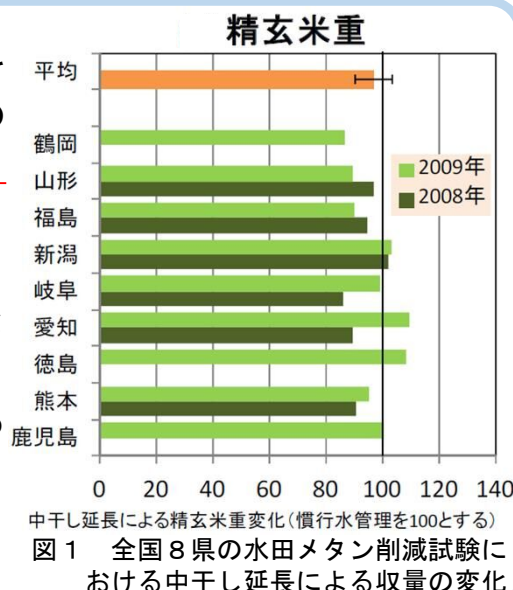
# J-クレジット制度等の「水稻栽培における中干し期間の延長」 に取り組む際の留意点

- J-クレジット制度※1等の「水稻栽培における中干し期間の延長」※2の取組は、水田からのメタンガス発生量を減らしつつ、新たに収益を得ることが期待できるため、県内でも徐々に広がりを見せています。
- 一方、ほ場条件によっては、米の収量や品質に影響するおそれがあるため、取組に当たっては、以下の点に留意しましょう。

※1 温室効果ガスの排出削減量等を「クレジット」として国が認証し、取引を可能とする制度。事業者がまとめて申請する形が一般的。  
 ※2 中干し期間を、その水田の直近2か年以上の実施日数より7日間以上延長する(前倒し延長も可)。所定の審査を経てクレジットの認証が受けられる。

## ①収量・品質への影響

- 全国8県で実施された試験結果※3によれば、中干し期間を慣行の日数から1週間程度延長することで、平均3%程度の減収が見られ(図1)、**中干しの過度な延長には収量減が伴う**との注意喚起がされています。
- 一方、多くの地点において慣行よりも登熟歩合が向上し、タンパク質含量の低下が認められるなど、品質が向上したことも示されています。
- 県では現在、収量性を維持しつつメタンガスの発生を低減する水管理技術について、検討を行っています。

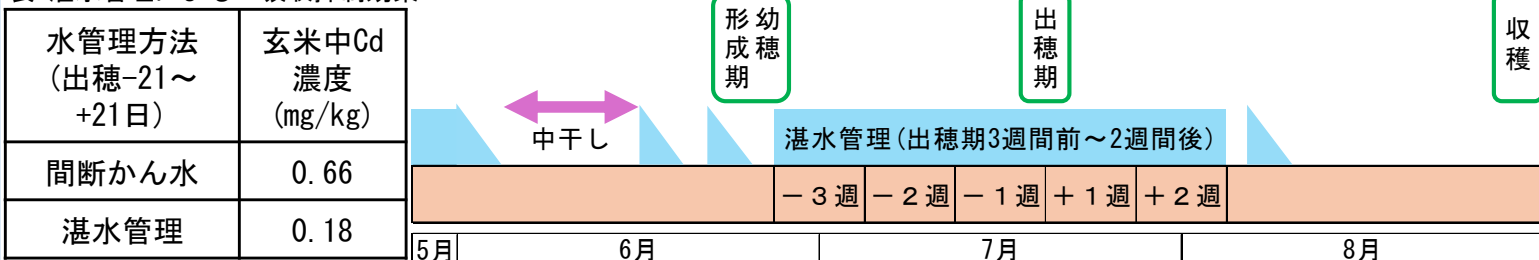


※3 「水田メタン発生抑制のための新たな水管理技術マニュアル」(H24.8 (独)農業環境技術研究所)

## ②玄米中のカドミウム(Cd)濃度への影響

- **過度の中干しは、土壌からのカドミウムの吸収を促進させ、玄米中のカドミウム濃度を上昇させるリスクがあります。**なお、コメ(玄米及び精米)中のカドミウム濃度が0.4 mg/kgを超えると、食品としての販売ができなくなります(食品衛生法)。
- 中干し期間は、県が推奨する標準的なカドミウム吸収抑制対策(**出穂3週間前から出穂2週間後までの間、水田を湛水状態に保つ**)や地域の状況などに基つき、適切に設定してください。

表 湛水管理によるCd吸収抑制効果



「コメ中のカドミウム低減のための実施指針」(H30.1 農林水産省消費・安全局)より引用・改変

図2 カドミウムの吸収を抑制する水管理

注) 暦は4/20植えこしヒカリの例

# 令和8年度水稲の高温対策研修会

参加費  
無料!

## ～高温登熟障害等から水稲を守る対策を学ぼう!～

近年、夏季の高温による水稲の高温登熟障害やイネカメムシの加害により、水稲の収量・品質に影響を及ぼしています。  
本研修会では、高温対策技術や現場で役立つ技術をご紹介します。  
生産者・関係者の皆様、ぜひご参加ください!

開催日時

**令和8年6月18日(木)**  
**午後1時30分～午後4時15分**  
(受付・オンライン入室は午後1時から)

開催方法

◆ **会 場**  
農林総合研究センター大会議室  
(千葉市緑区大金沢町180番地1)



◆ **オンライン**  
開催前日までにメールでID等をお知らせします。

内 容

【講演】 ～中干し後から収穫後までの栽培管理のポイント～

- (1) **本年の水稲の生育状況について**  
生産振興課 水田農業対策室 技師 有馬 佳宣 氏
- (2) **水稲の高温登熟障害の発生要因ごとの対策について**  
担い手支援課 専門普及指導室 上席普及指導員 小林 孝太郎 氏
- (3) **近年の高温条件下における被覆肥料の溶出時期と水稲の生育・収量との関係**  
農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室  
室長 平井 達也 氏
- (4) **水稲の高温対策に係る肥料等の資材について**  
全国農業協同組合連合会千葉県本部
- (5) **「イネカメムシ」に対する有効薬剤と防除適期**  
農林総合研究センター 病理昆虫研究室 上席研究員 清水 健 氏
- (6) **収穫時におけるコンバインの適正な走行方法**  
環境農業推進課 肥料・農薬班 副主査 小野瀬 優哉 氏  
山武農業事務所 改良普及課 普及指導員 玉理 温基 氏

【質疑応答】 質疑応答は会場参加の方を優先して質問を受け付けます

主 催 : 千葉県

共 催 : 全国農業協同組合連合会千葉県本部

# 会場アクセス



## 【自動車ご利用の場合】

◆千葉市中心部からの場合  
 県道20号（大網街道）で大網方面へ進み、「野田  
 十字路口」交差点で右折、おゆみ野南6丁目を左折、  
 おゆみ野中央9丁目を左折。

## 【電車・バスをご利用の場合】

- ◆JR外房線鎌取駅で下車の場合  
 「鎌取駅（南口）」から「農業センター入口」ま  
 で乗車時間約8分、停留所下車後、徒歩4分。
- ◆京成電鉄千原線ちはら台駅で下車の場合  
 「ちはら台駅」から「農業センター入口」まで乗  
 車時間約12分、停留所下車後、徒歩4分。

## 申し込み方法・問合せ先

ちば電子申請サービスからお申込み下さい。  
 右の二次元バーコードを読み取るか  
 以下のURLにアクセスしてください。

[https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=60578](https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=60578)

または、下記内容を担い手支援課にメール又はFAXにてお送りください。

【申込期限】 **令和8年6月10日（水曜日）まで**

【問合せ先】 千葉県農林水産部 担い手支援課 専門普及指導室宛て

TEL : 043-223-2911 FAX : 043-201-2615

E-mail : ninaite04@mz.pref.chiba.lg.jp



↑お申込みはこちら

氏名	参加方法※1 どちらかに○をつけて下さい	メールアドレス (オンライン視聴の方のみ)
	会場 or オンライン	
	会場 or オンライン	
	会場 or オンライン	
	会場 or オンライン	
	会場 or オンライン	

※お送りいただいた個人情報は、研修会の開催に当たり変更が生じた際にのみ使用し、他用途では使用いたしません。